

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	近畿医療専門学校
設置者名	学校法人 近畿医療学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復学科 昼間部（午前コース 午後コース スポーツ科学コース）	夜・通信	640 時間	80×3 =240 時間	
	鍼灸学科 昼間部（午前コース 午後コース）	夜・通信	511 時間	80×3 =240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kinkiisen.ac.jp/info/address.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	近畿医療専門学校
設置者名	学校法人 近畿医療学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kinkiisen.ac.jp/info/Corporation/riji.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社経営 (1992. 4. 1～)	2020. 4. 1 ～ 2024. 3. 31	財務
非常勤	整骨院経営 (1989. 5. 1～)	2020. 4. 1 ～ 2024. 3. 31	教務
非常勤	整骨院経営 (2012. 1. 1～)	2018. 11. 1 ～ 2022. 10. 31	広報
非常勤	整骨院経営 (2004. 4. 1～)	2019. 1. 1 ～ 2022. 12. 31	人事
非常勤	会社員 (2019. 4. 1～)	2019. 1. 1 ～ 2022. 12. 31	教務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	近畿医療専門学校
設置者名	学校法人 近畿医療学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各担当者は自身の担当科目が決まり次第、各担当科目に対して以下のことを記載した授業計画を学科に提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の方法 2. 授業の内容 3. 授業の回数とスケジュール 4. 到達目標 5. 成績評価の方法 <p>作成された授業計画は各学期初めに受講生に配布される。 また、実務経験のある教員等による授業科目についての授業計画は各学期初めまでにホームページにて公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ上</p> <p>https://www.kinkiisen.ac.jp/infoschool.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価においては各科目の授業計画における成績評価方法により評価される。学期末評価は学期末試験、臨時試験、追試験、再試験等の成績により評価し、学期末試験の成績が 60 点未満の場合は再試験の成績によって当該学期の評価がされ、学期末単位で履修する科目においては 60 点以上の評価を得た時に単位が認定される。 これらの認定法については学生便覧に表記され、各学年初めのオリエンテーションにて学生に告知される。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価においては、各科目における学期末評価をもとに学年末に「優・良・可・不可」の4段階で評価され、60点以上(優・良・可)をもって単位を認定する。また、各学生の履修科目の平均成績をGPAによる客観的な指標を用いて表す。</p> <p>GPAの算出方法 (履修科目の単位数×ポイント)の合計/履修した科目の総単位数</p> <p>ポイントの割り当て 優(100点～90点):4ポイント 優(89点～80点):3ポイント 良(79点～70点):2ポイント 可(69点～60点):1ポイント 不可(59点以下):0ポイント</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kinkiisen.ac.jp/info/pdf/sihyousansyutu.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>柔道整復師、はり師、きゅう師として必要な専門的知識及び技術を身につけ、社会に貢献しうる豊かな人間性を備えた者で、卒業に必要な全科目の単位を修得し、定められた学納金を完納している者に対し卒業を認定する。ただし、柔道整復学科においては公益財団法人 柔道整復研修試験財団が実施する「認定実技審査」の合格を必要とする。これらの基準により認定会議を経て、校長が決定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.kinkiisen.ac.jp/info/pdf/sotugyou.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	近畿医療専門学校
設置者名	学校法人 近畿医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kinkiisen.ac.jp/info/Corporation/2020taisayaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kinkiisen.ac.jp/info/Corporation/2020jigyokatudou.pdf
財産目録	https://www.kinkiisen.ac.jp/info/Corporation/2020zaisan.pdf
事業報告書	https://www.kinkiisen.ac.jp/info/Corporation/2020jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.kinkiisen.ac.jp/info/Corporation/2020kansa.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科 昼間部 (午前コース 午後コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2772 単位時間	1760 単位時間	128 単位時間	180 単位時間		704 単位時間
			2772 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
330人		216人	0人	10人	16人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）各担当者は自身の担当科目が決まり次第、各担当科目の授業計画を学科に提出し、各学期初めに受講生に配布する。実務経験のある教員等による授業科目についての授業計画は各学期初めまでにホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法 （概要） 所定の出席時間を満たすこと。各科目 100 点をもって満点とし、成績により優・良・可・不可で評価。可以上（60 点以上）を合格とする。
卒業・進級の認定基準 （概要） 所定の出席を満たした上で、定められた全ての単位を修得し、定められた学納金を完納していること。
学修支援等 （概要） クラス担任で定期的に個別の面談を行い、問題があれば学科で対応を行っている学業不振者に対しては、補講や個別指導を随時行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 （100%）	14人 （37.8%）	19人 （51.4%）	4人 （10.8%）
（主な就職、業界等） 病院、接骨院、鍼灸整骨院、スポーツジムなど			
（就職指導内容） 各種業界就職フェアに1年次より参加を促して、業界への意識づけを行う。 求人情報は常に閲覧可能とし、相談希望者には適時担当者が対応する			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
218人	18人	8.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任で定期的に個別の面談を行い、問題があれば学科で対応。学業不振者に対しては、補講や個別指導を随時行っている。 経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対して専門の事務職員が対応を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科 昼間部 （スポーツ科学コース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2892 単位時間	1760 単位時間 /単位	248 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	単位時間 /単位	704 単位時間 /単位
			2892 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		22人	0人	10人	18人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 各担当者は自身の担当科目が決まり次第、各担当科目の授業計画を学科に提出し、各学期初めに受講生に配布する。実務経験のある教員等による授業科目についての授業計画は各学期初めまでにホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 所定の出席時間を満たすこと。各科目 100 点をもって満点とし、成績により優・良・可・不可で評価。可以上 (60 点以上) を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 所定の出席を満たした上で、定められた全ての単位を修得し、定められた学納金を完納していること。
学修支援等
(概要) クラス担任で定期的に個別の面談を行い、問題があれば学科で対応を行っている学業不振者に対しては、補講や個別指導を随時行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 各種業界就職フェアに 1 年次より参加を促して、業界への意識づけを行う。 求人情報は常に閲覧可能とし、相談希望者には適時担当者が対応する			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 柔道整復師国家試験受験資格 スポーツサイエンティスト (スポーツ科学コース)			
(備考) (任意記載事項) 令和 3 年 4 月から開講			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任で定期的に個別の面談を行い、問題があれば学科で対応。学業不振者に対しては、補講や個別指導を随時行っている。 経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対して専門の事務職員が対応を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科 昼間部 (午前コース 午後コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2676 単位時間	1952 単位時間	64 単位時間	180 単位時間	480 単位時間	
			2676 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	140人	0人	9人	7人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 各担当者は自身の担当科目が決まり次第、各担当科目の授業計画を学科に提出し、各学期初めに受講生に配布する。実務経験のある教員等による授業科目についての授業計画は各学期初めまでにホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 所定の出席時間を満たすこと。各科目 100 点をもって満点とし、成績により優・良・可・不可で評価。可以上 (60 点以上) を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 所定の出席を満たした上で、定められた全ての単位を修得し、定められた学納金を完納していること。
学修支援等
(概要) クラス担任で定期的に個別の面談を行い、問題があれば学科で対応を行っている 学業不振者に対しては、補講や個別指導を随時行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	2人 (14.3%)	12人 (85.7%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 病院、鍼灸院、鍼灸整骨院など			
(就職指導内容) 各種業界就職フェアに1年次より参加を促して、業界への意識づけを行う。 求人情報は常に閲覧可能とし、相談希望者には適時担当者が対応する			
(主な学修成果 (資格・検定等)) はり師、きゅう師国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	6 人	5.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、家庭環境の変化、休学生の退学など		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任で定期的に個別の面談を行い、問題があれば学科で対応。学業不振者に対しては、補講や個別指導を随時行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対して専門の事務職員が対応を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復学科 昼間部	300,000 円	900,000 円	300,000 円	
柔道整復学科 昼間部スポーツ 科学コース	300,000 円	1,100,000 円	300,000 円	3 年次は授業料 900,000 円
鍼灸学科 昼間部	300,000 円	900,000 円	300,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kinkiisen.ac.jp/info/pdf/jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校と卒業生や地域住民などがお互いに理解を深めあう事を目的とし、 学校が行った自己評価を元に外部の目から見てどこが評価され、どこに問題点があるのかに ついて意見交換を行い、自己評価が客観的に妥当なのかを考えていく。 学校に関係する人たちと、学校側と一緒に学生のことを考え、お互いの立場から意見 交換を行う事で、よりよい学校づくりに寄与する。 主な評価項目 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ 募集、財務、法令等の遵守、社会貢献等 評価委員会の構成について 委員は企業・保護者・卒業生・地域住民等の中から 2 名以上を選出する 評価結果の活用方法 評価結果を受け次年度に向けた改善を学校長の指揮のもと行っていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
事務用品店経営	2016. 9. 1～2022. 8. 31	地域役員
整骨院勤務	2016. 9. 1～2022. 8. 31	卒業生
鍼灸整骨院勤務	2018. 3. 1～2023. 2. 28	卒業生
鍼灸整骨院経営	2018. 3. 1～2023. 2. 28	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kinkiisen.ac.jp/info/pdf/hyoukaiinnkai.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kinkiisen.ac.jp
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。